# あなたの使命とは何か（22）「一致するための7つの鍵」

メッセージノート（2023.5.21）

***エペソ 4:4−7*** *[4] 私たちはみな、一つの体の各器官です。だれもが同じ御霊を与えられ、同じ輝かしい未来（希望）へと招かれています。[5] また、私たちの主はただ一人であり、信仰も一つであり、バプテスマ（洗礼）も一つです。[6] そして、私たちすべての上に立ち、すべての中に宿り、各器官である私たちを貫いて生きておられる、神であり父である方は一つです。*

・　一致は人が作るものではなく、神から与えられるもの。

***詩篇 133 篇*** *[1] 兄弟たちがいっしょに仲良く暮らすことは、なんと楽しく、なんとすばらしいことでしょう。*
*[2] 仲良く暮らすことは、頭に注がれた香り高い油のように尊いことです。アロンに注がれた香油はひげに流れ落ち、服のえりにまでしたたりました。[3] 仲良く暮らすことは、ヘルモン山やイスラエルの山々に降りる露にも似ていて、新たな息吹を呼びさますのです。こうして、主はイスラエルに、永遠のいのちの祝福を与えると約束なさったのです。*

だから、

***エペソ 4:3*** *平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。*

- 「保つ（テイレイン）」：守る、保つ、維持することで、神の愛によって既に与えられた一致を守れという。
- 「努めなさい（スプダゾー）」：勤勉に努力する、あらゆる努力をして向かう姿勢を表している。

パウロは、一致を保つための7つの鍵について教える。

**1.　体**

・　体は統一体として、連動し協力し補完しながら機能しているように、キリストの体である教会も、キリストを頭としてその指示に従って皆が協力し助け合いながら生きるように意図されている。

・　これが人間の本来あるべき姿であり、その人間性の回復への道を神は十字架によって用意された。

- 助け合う存在：父の説教例話「左手の存在意義」。

**2.　御霊**

・　「ニューマ」は、「息」とも訳せる。酸素は、命の源泉であり、呼吸系のみならず循環器系にも協力して働く。一方、霊的力（酸素）は、神の命である聖霊を通して私のたちの魂に命を吹き込み活性化させ、どんな困難な中にあっても平安と勇気をもって歩み続けていくことができるようにしてくださる。

・　静かにこの聖霊の声に耳を傾ける時、知恵と力が与えられるばかりか、この永遠の命の源であり、命そのものであるお方が、私たちの中に住んでおられ、絶対的平安で満たしてくださる。

- 祈りの中、主の臨在を感じ、心が解放されたという経験はないか？

**3.　希望**

・　「私たちは皆、同じ決勝点を目指して進んでいる。ここに一致の重要な秘訣がある。私たちの方法は異なっているかもしれないし、組織も異なり、信仰さえも異なっているかもしれない。しかし、私たちは皆、一つの決勝点、すなわち、キリストによって贖われた世界という決勝点に向かっている」。（バークレイ）

- 父の死の受け止め方に関して、家族の間で相違があった。それは当然のことだが、動揺した。しかし、私たちが目指しているところは同じ神であるということを思った時、心に安心が戻ってきた。

## 4.　主

*ピリピ 2:11 イエス・キリストは主である。*

- この「主」(クリオス)という言葉は、僕や奴隷に対する主人と対照的に用いられる言葉。また、この言葉は、ローマ皇帝の正式な呼び方で、古代においては、王以外を拝むことは厳しく禁止されており、イエス・キリストを主と告白することは、命がけの行為であった。
- しかし、キリストへの忠誠のゆえに、信者たちはどんな迫害にも屈することはなかった。この主への忠誠は、主に対する感謝からで、主との関係が深まるほど、その有難い気持ちは強化される。

  ***詩篇 103:2** 我が魂よ、主をほめたたえよ。主がよくしてくださったことを何一つ忘れるな。*

## 5.　信仰

- 新約聖書において「信仰」という場合、それは教理でも信条でもなく、イエス・キリストへの完全な信頼とそれに伴う自己放棄(*「自分を捨て、日々自分の十字架を背負って従って来なさい」*)を意味する。
- パウロが、信仰の一致という場合、クリスチャンがキリストの愛に圧倒され、喜んですべてを委ねるゆえに、一つに結び合わされるということを言っている。

- 最近神の愛に心から「有難う」と言ったのはいつだっただろう？

## 6.　洗礼

- 洗礼は、私たちのうちに起こったことの外的表明である。また、教会に加わる入り口である。ローマ兵が軍隊に加わる入隊式でしなければならないことは、ローマ皇帝に永遠に忠誠を尽誓うことであったが、主の教会においては、イエス・キリストに対して、公に忠誠を告白することである。
- 信仰は神に対するものであるが、洗礼は、神と人の前においてなされるもので、天国と神の家族への加入を意味している。

- 神の国の国民(家族)としていただいていることの喜びを感じたことがあるだろうか？

## 7.　神／父

- 神であり、同時に父であるという表現で、パウロは、私たちの神は、父でもあるという。それは、神の「愛」が、永遠に秘められているからである。
- キリスト教の神に関する最も重要で独特なことは、神が主でも審判者でもなく、御父であるということだ。キリスト教の神観は、「愛」に始まり「愛」に終わる。この方が、全てのものの上におられ(主権者)、全てのものを貫き(中心)、全てのものの中(共)にいてくださり、私たちを導かれる。その動機は愛である。
- このことが意味していることは、私たちの周りに、あるいは中に起こってきているすべての出来事の上にあって支配し、その中心を貫き(すなわち矢面に立って)受け止め、内に、すなわち、共にいてくださり、支えていてくださるということを覚えることである。

- 起こっている問題の全てに、神は深く関わってくださり、そこで何か良いことを学ばせようとしている。

## まとめ

- これら7つの鍵の中で、今一番心に響くポイントはどれか？なぜそうなのか？
- 神はあなたのすべての状況をご存知であり、その詳細にわたるまで深く関わっていてくださるという事実は、今抱えている問題にどんな光を与えるであろうか？
- 神の愛があなたの人生の全てを貫いているという事実から、どんな希望が見い出せるか？